



令和元年 10 月 18 日

伊勢市長 鈴木 健一 様

伊勢市総合計画審議会  
会長 新田 均

第3次伊勢市総合計画の進行管理について（答申）

令和元年 8 月 29 日付け 31 企第 445 号で諮問のありました第3次伊勢市総合計画の進行管理については、下記のとおり答申します。

記

- 1 前期基本計画序章に関するまちづくりの主要課題の確認等について
  - ・ 7つのまちづくりの主要課題の現状認識について、課題につながる具体的取組が分かりにくい点があるため、課題ごとに取組事業を整理し、統一した記述とされたい。
  - ・ 課題「子どもを産み育てやすい環境づくり」について、働きながら育児をするということが当たり前の社会になるための環境づくりやさらなる意識啓発が必要と感じる。市が、仕事と育児との両立について意識啓発を率先して進められたい。また、「子どもがどこでも安心して居られる伊勢市整備」という考え方の視点を作ることが大切である。
  - ・ 課題「自然災害への備え」について、南海トラフ地震に備えた取組として、被災後の地域復興をいかに速やかに、より良い形で実行していくかの計画も必要と感じる。また、伊勢市民の風水害に対するレジリエンス（復元力・回復力・強靭さ）を高めるための取組として、NPOや業界団体、士業の方々など専門性のある知見を被災市民とつなげる体制（受援体制）づくりが重要である。
  - ・ 基本構想のまちづくりの基本理念が縦糸で、7つのまちづくりの主要課題が横糸となる。全ての事業、具体化計画がその中に位置するため、伊勢市の全体像についてもそこからイメージし、統一的なイメージで発信する必要がある。また、その観点から、実施計画の構成について、実施計画の概要の次に基本構想を挿入すべきだと思われる。



## 2 分野別計画に対する意見について

庁内で点検、評価された内容について検討を行った結果、今後の取組に向けた様々な意見や指摘が委員から寄せられた。それらを別紙のとおりまとめたので、どのように取り入れて具体化するかを検討されたい。

分野別計画に対する意見

分野	内容
<p>第1章 市民自治・市民交流</p>	<p><b>【第1節】地域コミュニティ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が増加する状況において、積極的に地域活動に参加していけるよう取り組まれない。</li> </ul>
<p>第2章 教育</p>	<p><b>【章全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章の目指す姿の「郷土を愛し」という要素が含まれる伊勢らしさが目立つ取組を増やされたい。</li> </ul> <p><b>【第1節 学校教育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の進行管理の指摘事項に係る対応状況の答えが問いと合っていない。問いと答えに不一致がないように対応されたい。</li> <li>・課題 21A「確かな学力と社会参画力の育成」の数値指標について、小学校の方が中学校よりも数値が高い。自己肯定観は学年が上がるにしたがって下がっていくため、ここを克服できるような取組を検討されたい。</li> <li>・課題 21A「未来へチャレンジ職場体験推進事業」「子どもたちとつくるやさしいまち伊勢市支援事業」等について、体験しただけでなく、体験後に伊勢の良さを実感するところまでを目指す取組としていただきたい。</li> <li>・不登校に関連する取組について、非常に大事な問題なので、自分たちが持っている見識の範囲の中で取り組むのではなく、色々と調査活動をして施策に反映していただきたい。</li> <li>・教員の負担軽減に関する事業がないと感じる。内閣府資料では、教員の指導力と心の病との関連も指摘されているため、教員の心のケアに係る事業化を検討されたい。</li> </ul> <p><b>【第3節 スポーツ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの魅力化による人口流出の防止、スポーツを利用した若者の伊勢への定住に係る施策も検討されたい。</li> </ul> <p><b>【第4節 文化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗行事について、今後、維持していくことが困難であるならば後に復活できるように、映像などの記録に残しておくというような取組も考えていただきたい。</li> </ul>
<p>第3章 環境</p>	<p><b>【第1節 循環型社会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電は景観的にマイナス面があるため、観光都市として太陽光発電の推進と景観の調和について、何か取組を考えていただきたい。</li> </ul>
<p>第4章 医療・健康・福祉</p>	<p><b>【第1節 医療・健康】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢病院も新設されたので、病診連携について、しっかりと協力しながら進められたい。</li> </ul> <p><b>【第2節 地域福祉】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口について、地域のできるのであれば民間の方、市民の方が相談に乗るといってもよいと思う。まずは、担い手を発掘し、今後は夜間、土日、祝日の開設も検討されたい。</li> <li>・福祉施策における圏域の設定について、障がい者と高齢者の圏域がずれているため、これらの整理を考えていただきたい。</li> <li>・課題コード 42 関連の新規事業「子どもの学習支援等事業」は、好評であるため、今後拡大の方向で考えていただきたい。</li> </ul>

分野	内容
<p>第4章 医療・健康・福祉</p>	<p><b>【第3節 共生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「障がい者サポーター制度」について、制度の啓発とともに、障がい者に対する理解の度合いは、一緒にいる時間に比例すると思われるため、ステップアップとして障がい者と一緒に過ごす時間を設ける取組を検討されたい。</li> </ul> <p><b>【第4節 子育て支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夫婦共働きの家庭が非常に多くなってきているが、子どもが病気になると夫婦どちらかが仕事を休まなければならないため、働くに働けないということも出てきている。延長保育、病児・病後児の保育など、子どもが病気になったときのサポートを更に充実させるようにされたい。また、施設に対する経費の補助以外の支援も考えていただきたい。</li> </ul> <p><b>【第5節 高齢者福祉】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の運動は医療費の削減につながるといったデータがあることから、運動をしない人に興味を持たせ、運動習慣をつけさせるように取り組まれたい。</li> </ul>
<p>第5章 防災・防犯・消防</p>	<p><b>【第1節 防災・減災】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは、罹災証明の発行や、義援金・支援物資の支給などの災害被災者支援は「世帯」を中心に取り組まれてきたが、社会の変化の中で世帯単位の支援では被災者自立支援が不十分といえる事例が指摘されてきている。個々人に適した支援と被災者をつなぐ「災害ケアマネジメント」の考え方に基づいた事業の導入を進められたい。</li> </ul> <p><b>【第2節 防犯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が増える中、被害者としての高齢者だけでなく、認知症などによる加害者としての高齢者についての取組の必要性を感じる。警察と医療・福祉が連携する事業「いせ見守りてらす」のように、犯罪、再犯防止のための取組を拡張していくことを考えられたい。</li> <li>・安全・安心なまちを守る取組として、市民や事業者が設置している防犯カメラ、車載カメラ等による抑止力向上に係る取組を、プライバシーの侵害等に配慮しながら進めていくことを検討されたい。</li> </ul> <p><b>【第3節 消防・救急】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「119番通報からの放水開始時間」は、市民が適切に伊勢市の消防・救急体制の現状を理解できる指標なので、今後も継続してこのような指標の公開をされたい。</li> <li>・救急車を適正に利用するための体制づくりが必要と感じる。他市を参考にし、伊勢市でも近隣の医療圏と共同して取組を進めていく必要がある。</li> </ul> <p><b>【第4節 交通安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あおり運転」などの危険運転が起こらないようにするため、追い抜き車線の利用ルールの普及や「あおり運転」の危険性啓発の取組が必要と考える。また、危険な「あおり運転」が行われないように、車載カメラの普及やその録画記録の運用方法などのガイドラインの策定を検討されたい。</li> </ul>

分野	内容
<p>第6章 産業・経済</p>	<p><b>【第3節 観光】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間にタクシーがないという問題について、観光だけではなく横断的に公共交通の方とも早急に解決すべき課題として進められたい。</li> </ul> <p><b>【第4節 就労・雇用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県の最低賃金が上がる中、賃金の未払いであったり、サービス労働を黙認したりすることがないように、様々なセミナー等を実施し対応されたい。</li> </ul>
<p>第7章 都市基盤</p>	<p><b>【第4節 住環境】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策については、「命令」の段階までいかないよう今後も早め早めの指導で対応されたい。</li> <li>・地籍事業については、災害復興に重要な事業として、シティプロモーションと関連させながら、市民の理解を得るような形で進められたい。また、防災との関係の中で、分野横断的に進めることも考えられたい。</li> </ul> <p><b>【第6節 上水道・下水道】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、人口減少により独立採算が厳しくなると思われるため、コンパクトな都市づくりをして、上下水道施設など、身の丈にあった管理をしていく方向で進められたい。</li> </ul>
<p>第8章 市役所運営</p>	<p><b>【第1節 行財政運営】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シティプロモーションは、PRに有効な事業であるため、継続して取り組まされたい。「住みたい、住み続けたい、訪れたい」というスローガンを共有し、実現に向けた意欲を高めていただきたい。</li> <li>・行政は事業を起こすのは得意だが、止めるのは苦手である。事務事業の取捨選択を進められたい。</li> </ul> <p><b>【第2節 行政組織力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織は職員力であるため、職員研修を、どんどん進められたい。また、職員の意見やアンケートなどを活用して、よりよい職場づくりに取り組まされたい。</li> <li>・伊勢市人材育成基本方針に掲げる人材像（語れる、感じる、考える、行動する、極める）について、全職員が言えるように取り組まされたい。</li> <li>・自分たちがやっている仕事が伊勢市を活性化している、伊勢市を元気にしている、伊勢市に貢献していると感じている等の職員の割合、職員の自己効力感を調査し、その状況を分析して採用や研修に反映されたい。</li> </ul>